

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

カーリングに挑戦（11月14日、15日）

町教育委員会などが主催する町民カーリング教室が2日間に渡って、空知川スポーツリンクスで行われ、町内の小学生とその親など延べ46名が参加しました。

NPO法人どんころ野外学校の目黒義重さんが講師を務め、氷上での動き方やストーンの投げ方などの基本動作や、得点の数え方などの基礎知識について教わりました。基本練習の後には、ミニゲームを行いカーリングを楽しみました。

なお、本事業には、富良野地区社会教育ネットワーク事業のカーリング教室として、富良野市や占冠村などから18名が参加して、町内の参加者とともにカーリングを学びました。



しか肉を利用したソーセージづくりに挑戦（11月17日）

富良野ブロック高等学校PTA役員研修会が、高齢者研修センターで開催され、美瑛町から本町までの5つの高校のPTA役員合わせて23名が参加して、「しか肉ソーセージづくり」を行いました。

参加した皆さんは、講師を務めたなんぷエゾカツカレー推進協議会の川村勝彦会長から指導を受け、4班に分かれて、しか肉や玉ねぎなどの材料をボールに入れて手で混ぜ合わせたあと、羊腸への肉詰め作業などを熱心に行っていました。

地域貢献事業として交通安全旗が寄贈される

下金山地区の国道274号線において工事を行っている旭川市の大起建設株式会社代表取締役社長西内繁一様による地域貢献事業の一貫として、地域の交通安全を願い、交通安全旗100枚が寄贈されました。

10月28日には、同社のご厚意に対して、池部町長から鳥潟義広所長へ感謝状を贈呈しました。

このたび寄贈いただいた交通安全旗については、町内の交通安全啓発運動のために使用されます。



本格的な舞台演劇を堪能（11月17日）

北海道舞台塾ふらの・そらち実行委員会の主催による、富良野塾OBユニット巡回公演がみたくで行われました。

富良野塾OBユニットの皆さんによる公演は今年で6回目となり、今回は「約三十の嘘」という作品が上演され、豪華寝台列車の車内を舞台に、喜劇の要素が多く取り入れられた本格的な舞台演劇に、来場された町民の皆さんは笑いの連続で、楽しく鑑賞していました。

力強い演奏で観衆を魅了（10月24日）

南富良野中学校吹奏楽部の第5回定期演奏会がみたくで行われました。

同校吹奏楽部は、今年8月に行われた北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選C編成の部（25人以下）で銀賞を受賞。この日は20名の部員の皆さんが、これまでに積み重ねてきた練習の成果を発揮して力強い演奏を披露し、会場に詰めかけた多くの町民を魅了していました。



永年培った数々の一芸を披露（10月31日）

第4回千里大学祭がみたくで行われました。大学祭は、企画をはじめ、司会や照明器具の操作、舞台の設営などを学生の皆さん自らが担当して運営され、会場内には、書道や手芸などの数々の作品が展示されたほか、舞台では、学生の皆さんの自慢の歌声や舞踊、器楽演奏、趣向をこらした舞踊劇など永年培ってこられた数々の一芸が披露され、観覧に訪れた多くの町民の皆さんから大きな拍手を浴びていました。

果樹の植樹と樹木の成長を観察（10月28日）

豊かな自然に接し、森林や自分たちが住んでいる地球環境を守ることの大切さを学ぼうと、幾寅小学校の3年生24名と4年生12名による「エジンバラ公の森観察学習」が行われました。

この学習は毎年春と秋に行われているもので、今回は、レディース100年の森林業グループの活動事業の一貫として、サクランボやリンゴ、ブルーベリーなどの実のなる木19本を植樹したあと、観察木の高さや幹周りを計測したり、木や葉の様子について熱心に観察し、記録を取っていました。

